

ファイルNo. シン2290920

平成22年9月9日  
豊沢システム(有)  
〒367-0022  
埼玉県本庄市日の出1-1-31  
電話 0495-24-3492  
FAX 0495-33-9618  
携帯 090-2748-3412

試験日 平成22年9月9日  
試験場所 豊沢システム 倉庫  
試験方法 緑豆モヤシを粉碎脱水する

試験番号 No. 1  
試験条件 粉碎筒隙間 1.0mm  
脱水バスケット 2mm目丸穴  
脱水物 緑豆モヤシ  
本庄市若泉、矢野間商店から入手(電話0495-24-3612)

投入時間 3分

1: 処理量  $3600 / (180) \times 20 = 400 \text{ Kg/h}$

A 脱水前重量  $22 \text{ Kg} - \text{箱風袋} 2 \text{ Kg} = 20 \text{ Kg}$

B 濾液重量  $16.5 \text{ Kg} - \text{パケツ風袋} 1 \text{ Kg} = 15.5 \text{ Kg}$

2: 減量率  $= B / A \times 100$

$15.5 / 20 \times 100 = 78\%$

C モヤシ深さ  $25 \text{ cm} + 25 \text{ cm} = 50 \text{ cm}$

D モヤシ脱水後の深さ  $2.5 \text{ cm}$

3: 減容  $= 1 / (C / D)$

$1 / (50 / 2.5) = 1 / 20$

4: 脱水物重量  $4.4 \text{ Kg} - \text{箱風袋} 2 \text{ Kg} = 2.4 \text{ Kg}$

5: 機械内部付着量  $= 20 - 15.5 - 2.4 = 2.1 \text{ Kg}$

モヤシ粉碎脱水前(深さ25cm)



モヤシ粉碎脱水後(深さ2.5cm)



ファイルNo. シン2290930

投入前  
写真のモヤシの量 10Kg



濾液 (15.5Kg)



モヤシ (一袋 10kg 入り)



脱水物 (2.4Kg)



平成22年9月11日  
豊沢システム(有)  
〒367-0022  
埼玉県本庄市日の出1-1-31  
電話 0495-24-3492  
FAX 0495-33-9618  
携帯 090-2748-3412

試験日 平成22年9月11日  
試験場所 豊沢システム 倉庫  
試験方法 緑豆モヤシ屑を粉碎脱水する

試験番号 No. 2  
試験条件 粉碎筒隙間 1.0mm  
脱水バスケット 2mm目丸穴  
脱水物 緑豆モヤシ屑  
本庄市若泉、矢野間商店から入手(電話0495-24-3612)

投入時間 2分30秒  
1: 処理量  $3600 / (150) \times 33.7 = 808 \text{ Kg/h}$

A 脱水前重量  $35.7 \text{ Kg} - \text{箱風袋} 2 \text{ Kg} = 33.7 \text{ Kg}$   
B 濾液重量  $21.5 \text{ Kg} - \text{バケツ風袋} 1 \text{ Kg} = 20.5 \text{ Kg}$   
2: 減量率  $= B / A \times 100$   
 $20.5 / 33.7 \times 100 = 61\%$

C モヤシ屑深さ  $24 \text{ cm} + 24 \text{ cm} = 48 \text{ cm}$   
D モヤシ屑脱水後の深さ  $19 \text{ cm}$   
3: 減容  $= 1 / (C / D)$   
 $1 / (48 / 19) = 1 / 2.5$

4: 脱水物重量  $10.7 \text{ Kg} - \text{箱風袋} 2 \text{ Kg} = 8.7 \text{ Kg}$

5: 機械内部付着量  $= 33.7 - 20.5 - 8.7 = 4.5 \text{ Kg}$

モヤシ屑粉碎脱水前(深さ24cm)



DSC00428.JPG

モヤシ屑粉碎脱水後(深さ19cm)



DSC00445.JPG

#### 備考

脱水物がほとんど緑豆の殻なので緑豆モヤシ屑の殻は約10Kg、約30%になる。つまり、殻が30%ぐらい混ざっているモヤシ屑の場合、減量率が60%程度になると考えられる。

ファイルNo. シン2291102

投入前



濾液 (20.6 Kg)



モヤシ屑 (33.7 Kg)



脱水物 (8.7 Kg)



終了後上カバーを外した状態



終了後の上カバーの中側



終了後の内筒の中側



終了後の洗浄準備



ファイルNo. シン2291810

平成22年9月18日  
豊沢システム(有)  
〒367-0022  
埼玉県本庄市日の出1-1-31  
電話 0495-24-3492  
FAX 0495-33-9618  
携帯 090-2748-3412

試験日 平成22年9月18日  
試験場所 豊沢システム 倉庫  
試験方法 緑豆モヤシかすを粉碎脱水する

試験番号 No. 3  
試験条件 粉碎筒隙間 1.0mm  
脱水バスケット 2mm目丸穴  
脱水物 緑豆モヤシかす

投入時間 10分30秒

1: 処理量  $60 / 10.5 \times 154.7 = 884 \text{ Kg/h}$

A 脱水前重量 154.7Kg

B 濾液重量 130Kg

2: 減量率 =  $B / A \times 100$

$130 / 154.7 \times 100 = 84\%$

C モヤシかす脱水前容積 520L

D モヤシかす脱水後の容積 93L

3: 減容 =  $1 / (C / D)$

$1 / (520 / 93) = 1 / 5.6$

4: 脱水物重量 21.6Kg

5: 機械内部付着量 3.1Kg

モヤシかす粉碎脱水前



モヤシかす粉碎脱水後

